



独立行政法人

大学評価・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

機構ニュース

Vol.145 2015 June

今月の記事

Top News

○大学質保証フォーラム&公開研究会 事前登録受付中1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○302人から学士の学位授与の申請 -平成27年度4月期申請分-2

○2,262人に学士の学位を授与 -平成26年度10月期申請分-4

○これまでの学位授与の状況(学士)5

○短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況6

機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者への学位授与関係

○59人から修士の学位授与の申請 -大学院修士課程相当の課程修了者-7

○7人から博士の学位授与の申請 -大学院博士課程相当の課程修了者-8

○これまでの学位授与・課程認定の状況9

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○国際連携ウェブサイトリニューアル12

○新規刊行物のご案内 -「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要:オーストラリア 第2版」13

○マレーシア資格機構(MQA)の訪問調査にオブザーブ参加14

機構の窓

○会議の開催状況15

○委員の異動16

主要行事日程

○Schedule(6月~8月)18

TOP NEWS

○大学質保証フォーラム&公開研究会 事前登録受付中

7月27日(月)、一橋講堂(千代田区一ツ橋)にて、平成27年度大学質保証フォーラム「知の質とは—アカデミック・インテグリティの視点から—」を開催します。昨今、大学は、知の創造、知の継承主体として、大きな期待が寄せられていると同時に社会的な責任や信用についても問われています。今回のフォーラムでは、濱口道成名古屋大学総長顧問や、鈴木典比古国際教養大学長、海外の有識者をお招きし、大学が担う公正性や健全性は、研究のみならず、教育、そして大学運営そのものにも関わるものとして、「アカデミック・インテグリティ」の概念や国内外の事例を交えながら、大学が自律的に知の質保証をするための視座について議論をしていきます。

また、フォーラムの翌日には関連する公開研究会を行います。午前と午後の2部構成で、フォーラムに登壇する2名の外国人有識者(Dr.Bruce Macfarlane、Dr.Tim Burton)を招き、アカデミック・インテグリティにかかる考え方や海外の実践方法について深めていく場にしていきます。

フォーラムおよび公開研究会の詳細、および事前参加登録の情報は下記のウェブページに掲載しています。ぜひご覧ください。

大学質保証フォーラム開催案内掲載ページ：

http://www.niad.ac.jp/n_kenkyukai/uqaf2015.html(シンポジウム・セミナーweb ページ)

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

〇302人から学士の学位授与の申請　－平成27年度4月期申請分－

短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等302人から、21専攻分野40専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成27年5月15日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成27年8月21日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成27年9月末までに学士の学位を授与する予定です。

なお、申請に当たっては、インターネットを利用して申請ができる「電子申請システム」が平成20年度から導入され、郵送申請とあわせて利用されています。

＜平成27年度4月期学士の学位授与申請者数＞

（基礎資格別）

基礎資格	申請者数 (人)
短期大学卒業生	77
高等専門学校卒業生	41
専門学校修了者	143
大学中退者	29
飛び級	1
大学卒業生	11
外国資格	0
合計	302

（見込み申請者の内訳）

区分	申請者数 (人)
短期大学専攻科修了見込者	0
高等専門学校専攻科修了見込者	21
合計	21

(専攻の区分別)

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数 (人)	専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数 (人)
文 学	英語・英米文学	1	保健衛生学	看護学	155
	独語・独文学	1		検査技術科学	5
	哲 学	1		臨床工学	9
	心 理 学	1		放射線技術科学	17
教 育 学	教 育 学	13		理学療法科学	7
神 学	神 学	1		作業療法科学	2
社 会 学	社 会 学	1		視能矯正学	1
教 養	地 域 研 究	1	鍼灸学	鍼灸学	3
学 芸	比較文化	1	栄養学	栄 養 学	6
	国際関係	1	工 学	機械工学	5
	科学技術研究	1		電気電子工学	7
法 学	法 学	5		情報工学	8
経 済 学	経 済 学	1		応用化学	2
商 学	商 学	2		材料工学	3
経 営 学	経 営 学	1		建築学	4
理 学	数学・情報系	4		社会システム工学	3
	生物学系	2	商船学	商 船 学	19
	総合理学	1	水産学	水 産 学	1
			家政学	家 政 学	1
			芸術学	音 楽	1
				美 術	3
			体育学	体 育 学	1
			合 計		302

〇2,262 人に学士の学位を授与 —平成 26 年度 10 月期申請分—

平成 26 年度 10 月期に学士の学位授与申請のあった短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等 2,349 人のうち、2,262 人に対し学士の学位を授与しました。

今回の学士の学位授与については、関係各専門委員会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果に基づき、平成 27 年 2 月 13 日（金）開催の学位審査会において審査が行われました。

〈平成 26 年度 10 月期学士の学位授与申請者数及び取得者数〉

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数 (人)	取得者数 (人)	専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数 (人)	取得者数 (人)
文 学	国 語 国 文 学	14	14	保健衛生学	看 護 学	346	330
	英 語 ・ 英 米 文 学	3	2		検 査 技 術 科 学	17	17
	歴 史 学	2	2		放 射 線 技 術 科 学	16	15
	哲 学	1	0		理 学 療 法 学	21	20
教 育 学	教 育 学	184	178		作 業 療 法 学	5	5
神 学	神 学	3	2		言 語 聴 覚 障 害 学	3	3
社 会 学	社 会 学	1	0	鍼 灸 学	鍼 灸 学	1	1
	社 会 福 祉 学	1	1	口 腔 保 健 学	口 腔 保 健 衛 生 学	42	40
教 養	比 較 文 化	1	1		口 腔 保 健 技 工 学	6	6
	地 域 研 究	4	3	柔 道 整 復 学	柔 道 整 復 学	1	0
	科 学 技 術 研 究	2	2	栄 養 学	栄 養 学	68	57
学 芸	科 学 技 術 研 究	1	1	工 学	機 械 工 学	375	369
社 会 科 学	社 会 科 学	3	3		電 気 電 子 工 学	479	470
法 学	法 学	5	4		情 報 工 学	201	194
経 済 学	経 済 学	1	1		応 用 化 学	169	169
商 学	商 学	1	0		生 物 工 学	35	35
理 学	経 営 学	15	14		材 料 工 学	29	29
	数 学 ・ 情 報 系	3	0		土 木 工 学	139	139
	物 理 学 ・ 地 学 系	1	0		建 築 学	56	51
	生 物 学 系	1	0		社 会 シ ス テ ム 工 学	11	8
	総 合 理 学	3	2		芸 術 工 学	芸 術 工 学	1
				家 政 学	家 政 学	6	6
				芸 術 学	音 楽	34	31
					美 術	38	36
合 計						2,349	2,262

○これまでの学位授与の状況（学士）

<平成4年度～平成26年度>

専攻分野の名	専攻の区分	取得者数	専攻分野の名称	専攻の区分	取得者数		
文 学	国語国文学	197	看護学	看護学	5,435		
	英語・英米文学	133		保健衛生学	検査技術科学	1,094	
	独語・独文学	4			臨床工学	66	
	仏語・仏文学	12			放射線技術科学	2,181	
	中国語・中国文学	3			理学療法学	610	
	ｺｰｱ語・ｺｰｱ文学	1			作業療法学	321	
	歴史学	84			言語聴覚障害学	16	
	哲学	10			視能矯正学	3	
	心理学	55			鍼灸学	鍼灸学	130
	宗教学	46			口腔保健学	口腔保健衛生学	246
教育学	2,863	口腔保健技工学	16				
神学	神学	22	柔道整復学	柔道整復学	3		
社会学	社会学	25	栄養学	栄養学	2,469		
	社会福祉学	71	工学	機械工学	5,804		
教 養	比較文化	11		電気電子工学	6,690		
	地域研究	121		情報工学	2,226		
	国際関係	7		応用化学	2,409		
	科学技術研究	17		生物工学	387		
学 芸	比較文化	3		材料工学	526		
	地域研究	18		土木工学	2,059		
	国際関係	2		建築学	1,004		
	科学技術研究	21		社会システム工学	67		
社会科学	社会科学	30		芸術工学	芸術工学	381	
法学	法学	90	商船学	商船学	121		
政治学	政治学	22	農学	農学	135		
経済学	経済学	68	水産学	水産学	5		
商学	商学	71	家政学	家政学	99		
経営学	経営学	215	芸術学	音楽	1,142		
理 学	数学・情報系	29		美術	3,368		
	物理学・地学系	26	体育学	83			
	化学系	18	合 計		43,463		
	生物学系	34					
	総合理学	34					
薬学	薬学(～H21)	2					
薬科学	薬科学	2					

○短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況

平成 27 年 4 月 1 日現在

	区 分	平成 26 年度末時点 既認定専攻科数(a)	平成 27 年度 新規認定専攻科数(b)	平成 27 年度 認定専攻科総数(a+b)
短 期 大 学 専 攻 科	文 学	3 [2]	1 [1]	4 [3]
	教育学	25 [22]	1 [1]	26 [23]
	社会学	1		1
	教 養	5 [3]		5 [3]
	看護学※	8		8
	保健衛生学※	4		4
	口腔保健学	6 [1]		6 [1]
	家政学・栄養学	12 [10]		12 [10]
	工学・芸術工学	2 [2]		2 [2]
	芸術学	10 [7]		10 [7]
	計	49 校 76 専攻[47]	2 校 2 専攻[2]	50 校 78 専攻[49]
高 等 専 門 学 校 専 攻 科	経済・商学・経営	2 [2]		2 [2]
	工学・芸術工学	116 [116]	5 [5]	121 [121]
	商船学	5 [5]		5 [5]
	計	56 校 123 専攻[123]	5 校 5 専攻[5]	56 校 128 専攻[128]
合 計		105 校 199 専攻[170]	7 校 7 専攻[7]	106 校 206 専攻[177]

(注1) ※印の区分については、3年制の短期大学に置かれる1年制の専攻科である。

(注2) [] 内は、2年制の専攻科で内数。

(注3) 「合計」欄の学校数については、実数を記載（同一校において他の専攻科を認定したこと等により単純に累計とならない）。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○59人から修士の学位授与の申請 ー大学院修士課程相当の課程修了者ー

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成27年3月修了者59人から、修士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成27年5月15日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、社会科学、理学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成27年8月21日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成27年9月末までに、修士の学位を授与する予定です。

<修士の学位授与申請者数>

認定課程名	専攻分野	申請者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	理 学	2
	工 学	41
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	安全保障学	2
独立行政法人水産大学校 水産学研究科	水 産 学	9
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科	看 護 学	5
合 計		59

〇7 人から博士の学位授与の申請 ー大学院博士課程相当の課程修了者ー

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている防衛大学校理工学研究科（後期課程）、防衛大学校総合安全保障研究科（後期課程）の平成 27 年 3 月修了者 7 人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成 27 年 5 月 15 日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、社会科学、工学・芸術工学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成 27 年 8 月 21 日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成 27 年 9 月末までに、博士の学位を授与する予定です。

<博士の学位授与申請者数>

認 定 課 程 名	専攻分野	申請者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	工 学	5
防衛大学校 総合安全保障研究科（後期課程）	安全保障学	2
合 計		7

○これまでの学位授与・課程認定の状況

学位授与の状況

1 学士（大学の学部に対応する教育を行う課程）

＜平成3年度～平成26年度＞

認定課程名	専攻分野	取得者数 (人)
防衛大学校 本科	理 学	717
	工 学	7,156
	社 会 科 学	1,440
	人 文 科 学	286
	計	9,599
防衛医科大学校 医学教育部医学科	医 学	1,507
独立行政法人水産大学校 本科	水 産 学	4,264
海上保安大学校 本科	海 上 保 安	918
気象大学校 大学部	理 学	327
職業能力開発総合大学校 長期課程	工 学	4,918
国立看護大学校 看護学部看護学科	看 護 学	1,041
合 計		22,574

2 修士（大学院の修士課程に対応する教育を行う課程）

＜平成4年度～平成26年度＞

認定課程名	専攻分野	取得者数 (人)
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	理 学	146
	工 学	1,303
	計	1,449
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	安全保障学※1	278
職業能力開発総合大学校 研究課程※2	工 学	470
独立行政法人水産大学校 水産学研究科	水 産 学	194
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科	看 護 学	70
合 計		2,461

※1 平成14年度までは「社会科学」の名称で授与

※2 平成24年度末で廃止

3 博士（大学院の博士課程に相当する教育を行う課程）

＜平成3年度～平成26年度＞

認定課程名	専攻分野	取得者数 (人)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医 学	420
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	理 学	6
	工 学	56
	計	62
防衛大学校 総合安全保障研究科（後期課程）	安 全 保 障 学	11
合 計		493

各省庁大学校の課程の認定状況

1 大学の学部に対応する教育を行う課程

認定課程名	修業年限	認定年月日
防衛大学校 本科	4年	平成3年12月18日
防衛医科大学校 医学教育部医学科	6年	平成3年8月30日
独立行政法人水産大学校 本科	4年	平成3年12月18日
海上保安大学校 本科	4年	平成3年12月18日
気象大学校 大学部	4年	平成3年12月18日
職業能力開発総合大学校 長期課程※	4年	平成3年12月18日
国立看護大学校 看護学部看護学科	4年	平成13年3月26日
職業能力開発総合大学校 総合課程	4年	平成24年2月13日

※平成27年度末廃止予定

2 大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認定課程名	修業年限	認定年月日
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	2年	平成3年12月18日
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	2年	平成9年3月11日
独立行政法人水産大学校 水産学研究科	2年	平成6年6月23日
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科前期課程	2年	平成17年2月10日

3 大学院の博士課程に相当する教育を行う課程

認定課程名	修業年限	認定年月日
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	4年	平成3年8月30日
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	3年	平成13年3月12日
防衛大学校 総合安全保障研究科（後期課程）	3年	平成21年2月13日
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科後期課程	3年	平成27年2月13日

質保証連携

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○国際連携ウェブサイトリニューアル



大学評価・学位授与機構では、大学等における質保証活動を支援し、日本の高等教育の国際的な信頼性を高めるための活動として、国内の大学関係者の皆様に、海外の高等教育質保証にかかる制度や動向の情報を提供しています。

こうした情報提供のためのウェブサイトをおよび一新しました。より見やすく、使いやすくなった国際連携ウェブサイトの情報を、高等教育の諸活動にぜひお役立てください。

「国際連携ウェブサイト」



本サイトでは、国際的な動向を踏まえた高等教育の質保証活動に資するため、諸外国の質保証に係る制度情報や動向とともに、我が国の高等教育の国際的な信頼性を高めるための諸外国質保証機関との連携活動を紹介しします。

主なコンテンツ

- 各国・地域の高等教育情報
- 国際的な共同教育
- 国際化評価
- 刊行物・調査報告

URL: http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/

海外動向発信サイト「QA Updates-International」



大学等において、高等教育の国際連携や質保証活動に携わる教職員の方々に向けて、海外の高等教育質保証の制度や関連政策の最新動向を記事にして紹介しています。

以下のような情報を探したいとき...

QA Update をご活用ください

- ✓ 学生モビリティの概況や大学の国際化戦略をまとめた海外当局のレポート
 - ✓ 国際的な質保証のプロジェクトの動向
 - ✓ A国における次期評価制度に向けた議論状況
 - ✓ B国のアクレディテーション結果がわかる資料
- ※動向記事は国別、キーワードタグからご覧いただけます。

URL: <http://qaupdates.niad.ac.jp/>

○新規刊行物のご案内 — 「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：オーストラリア 第2版」

当機構では、国内外の高等教育質保証の基礎情報や動向をはじめ、国際的な共同教育プログラムの質保証を図るうえで有益な海外の情報や事例を収集し、刊行物や概要資料にまとめて関係者に広く発信しています。

今回は、「インフォメーション・パッケージ」の収録資料の一つである、諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要「オーストラリア」の第2版を新たに刊行しましたので、ご案内します。

「インフォメーション・パッケージ」新規収録資料

諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要「オーストラリア」第2版（日本語・英語）



2010年3月に刊行した同概要第1版を更新する形で第2版を刊行したものです。新たな収録情報として、豪州高等教育の質保証機関として2011年に設立されたオーストラリア高等教育質・基準機構（TEQSA）の情報や、同機構が実施する基準ベース・リスクベースの規制・監督についてまとめています。また、2011年に設置され、豪州の職業訓練機関の規制・監督を担当する、ASQA（オーストラリア技能質保証機関）についても記載しています。このほか、豪州において統一された学位・資格の枠組みであるAQF（オーストラリア資格枠組）の情報についても追加しています。

当機構の覚書締結機関でもあるTEQSAやオーストラリア大使館の協力・助言を得つつ、最近のデータや動向を踏まえて、当機構の評価事業部国際課を中心に作成しました。（平成27年5月刊行／日本語版59ページ、英語版63ページ）

概要掲載先： 国際連携ウェブサイト

http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/

○マレーシア資格機構（MQA）の訪問調査にオブザーブ参加

当機構は、覚書締結機関であるマレーシア資格機構（MQA）との間で、質保証に関する比較調査プロジェクトを実施し両機関の行う質保証（評価）の基準やプロセス等について比較調査を行っています。今回、その調査の一環として、4月28日（火）～30日（木）の3日間にわたり、機構教職員2名がMQAの訪問調査にオブザーバーとして参加しました。訪問調査では、評価者がどのような視点で評価を行っているかなどについて実地調査を行い、マレーシアの質保証の手順や評価の観点等について理解を深めました。

なお、昨年10月には、MQA職員が機構の訪問調査にオブザーバーとして参加し、今回と同様に、機構の評価について実地調査をしています。本プロジェクトでは、今後、本調査によって収集した情報等をもとに、機構とMQAのプロジェクト担当者が具体の類似点・相違点等についてまとめていくこととしています。

機構の窓

○会議の開催状況

・学位審査会

第1回 平成27年5月15日（金） 15時00分～17時00分

議事

- (1) 学位取得者数について
- (2) 短期大学及び高等専門学校卒業生等に係る学士の学位授与の審査について
- (3) 認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査について
- (4) 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査について
- (5) 短期大学の専攻科に係る認定の再審査について
- (6) 平成27年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- (7) 平成28年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- (8) 平成28年度認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について
- (9) 短期大学及び高等専門学校の認定専攻科の特例適用認定に係る審査について
- (10) 短期大学及び高等専門学校の特例適用専攻科に係る変更の届出について
- (11) その他

・大学機関別認証評価委員会

第1回 平成27年5月18日（月） 14時00分～16時00分

議事

- (1) 評価部会の編成等について
- (2) 運営小委員会の編成について
- (3) 大学機関別認証評価自己評価実施要項について
- (4) その他

・高等専門学校機関別認証評価委員会

第1回 平成27年5月29日（金） 14時00分～15時30分

議事

- (1) 評価部会の編成等について
- (2) 高等専門学校機関別認証評価検討ワーキンググループ（第1回）の審議状況について
- (3) その他

○委員の異動

・学位審査会審査委員

学位審査会審査委員20人全員の任期満了に伴い、3人の方々が退任され、17人の方々が再任されました。

退任（平成27年3月31日任期満了）

氏名	退任時の職	在任期間
角田 敏一	大学評価・学位授与機構教授	平成19年10月24日～平成27年3月31日
中原 一彦	大学評価・学位授与機構教授	平成13年4月1日～平成27年3月31日
野中 勝	東京大学教授	平成23年4月1日～平成27年3月31日

・学位審査会審査委員17人

任期は平成27年4月15日～平成28年3月31日

氏名	現職	氏名	現職
板倉 駿夫	日本大学教授	高戸 毅	東京大学教授
○井上 智子	東京医科歯科大学教授	田中 亨胤	近大姫路大学特任教授
大芝 亮	青山学院大学教授	中村 聡	東京工業大学教授
奥田 晴樹	立正大学教授	西出 和彦	東京大学教授
奥乃 博	早稲田大学教授	野坂 泰司	学習院大学教授
越 光男	大学評価・学位授与機構 特任教授	松尾 大	東京藝術大学教授
◎酒井 善則	放送大学特任教授	毛利 尚武	大学評価・学位授与機構教授
佐藤 慎司	東京大学教授	吉川 裕美子	大学評価・学位授与機構 学位審査研究主幹
鈴木 恵美子	お茶の水女子大学教授		

(◎:委員長、○:副委員長)

・高等専門学校機関別認証評価委員会委員

高等専門学校機関別認証評価委員会委員1名が退任されました。

退任

氏名	退任時の職	在任期間
青木 恭介	大学評価・学位授与機構特任教授	平成16年5月1日～平成27年3月31日

- ・法科大学院認証評価委員会委員

法科大学院認証評価委員会委員 1 名が退任されました。

退任

氏 名	退任時の職	在 任 期 間
安 永 正 昭	同志社大学教授	平成20年5月1日～平成27年4月30日

主要行事日程

○ Schedule

6月

日	行事名	担当課	関連ページ
3日	法科大学院認証評価委員会（第1回）	評価支援課	関連ページ
5日	大学機関別認証評価等に関する説明会（大阪）	評価支援課	関連ページ
5日	平成28年度に実施する大学機関別認証評価等に関する自己評価担当者等に対する研修会（大阪）	評価支援課	関連ページ
7日	大学評価・学位授与機構試験（東京・大阪）	学位審査課	関連ページ
15日	大学機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課	
16日	大学機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課	
16日	法科大学院認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課	
18日	平成27年度大学等の質保証に関する機構職員研修	評価企画課	
23日	高等専門学校機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課	

7月

日	行事名	担当課	関連ページ
23日	国立大学法人等評価実務担当者説明会（東京）	評価企画課	
27日	平成27年度大学質保証フォーラム	国際課	関連ページ
30日	国立大学法人等評価実務担当者説明会（大阪）	評価企画課	

8月

日	行事名	担当課	関連ページ
21日	学位審査会（平成27年度第2回）	学位審査課	関連ページ

